



かすみがうら市
KASUMIGAURA

議会だより

No.50

目次 CONTENTS

- P2-3 平成29年第2回定例会提出議案
- P4 議案審査特別委員会議案質疑
- P5 委員会活動
- P6-9 一般質問
- P10 コラム



議会録画放映がスマートフォンや
タブレットに対応しました

▲ヒマワリ(深谷地内)

平成29年

第2回定例会



第2回定例会は6月6日から6月21日までの会期16日間で開かれ、報告4件、承認2件、議案7件について審議しました。一般質問は6月7日、8日、9日の3日間行われ8名の議員が登壇しました。また、最終日には議案6件、諮問3件が追加されました。

議案等の審議結果

▼ 報告第3号

平成28年度かすみがうら市一般会計繰越明許費繰越計算書について

▼ 議案第26号
かすみがうら市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

可決

▼ 報告第4号

平成28年度かすみがうら市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

▼ 議案第27号

かすみがうら市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

可決

▼ 報告第5号

平成28年度かすみがうら市水道事業会計予算繰越計算書について

▼ 議案第28号

かすみがうら市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

可決

▼ 報告第6号

専決処分事項の報告について

平成29年度末をもってさくら保育所を閉所するものです。

可決

▼ 承認第1号

専決処分事項の承認を求めることについて

▼ 議案第29号

平成29年度かすみがうら市一般会計補正予算（第1号）

可決

▼ 承認第2号

専決処分事項の承認を求めることについて

▼ 議案第30号

市道路線の認定について（稲吉東地内）

可決

自治功勞により表彰

この度、6名の議員が、永年にわたり地方自治発展と市政の振興に貢献された功績により、全国市議会議長会と茨城県市議会議長会から表彰されました。

また、前議長の藤井議員に茨城県市議会議長会から会務の運営と地方自治の発展に貢献したとして感謝状が贈られました。

○全国市議会議長会表彰

正副議長在職4年以上

藤井裕一

議員在職15年以上

矢口龍人

小座野定信

▼▼ 議案第31号

市道路線の認定について

(稲吉東地内)

可決

▼▼ 議案第32号

市道路線の認定について

(稲吉東地内)

可決

▼▼ 議案第33号

かすみがうら市教育委員会委員の任命について

中島 和彦 氏 (下志筑)

平成29年6月21日 同意

▼▼ 議案第34号

かすみがうら市教育委員会委員の任命について

坂本 雅子 氏 (上大堤)

平成29年6月21日 同意

▼▼ 議案第35号

かすみがうら市固定資産評価審査委員会委員の任命について

大橋 稔 氏 (稲吉南)

平成29年6月21日 同意

▼▼ 議案第36号

かすみがうら市固定資産評価審査委員会委員の任命について

漆野 利雄 氏 (六倉)

平成29年6月21日 同意

▼▼ 議案第37号

かすみがうら市固定資産評価審査委員会委員の任命について

屋城 里子 氏 (下稲吉)

平成29年6月21日 同意

▼▼ 議案第38号

かすみがうら市固定資産評価審査委員会委員の任命について

大川 博 氏 (深谷)

平成29年6月21日 同意

▼▼ 選挙第5号

かすみがうら市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

当選

選挙管理委員

清水 見龍 氏 (中志筑)

福田與兵衛 氏 (牛渡)

都賀久美子 氏 (雪人)

高野 文江 氏 (下大堤)

選挙管理委員補充員

梁田 克郎 氏 (五反田)

枝 京子 氏 (稲吉)

貝塚久美子 氏 (坂)

久保田裕文 氏 (加茂)

平成29年6月6日 当選

▼▼ 諮問第3号

人権擁護委員の候補者の推薦について

適任

▼▼ 諮問第4号

人権擁護委員の候補者の推薦について

適任

▼▼ 諮問第5号

人権擁護委員の候補者の推薦について

適任

議員在職10年以上

加 固 豊 治

小松崎 誠

○茨城県市議会議長会表彰

正副議長在職4年以上

藤 井 裕 一

議員在職15年以上

矢 口 龍 人

小座野 定 信

議員在職10年以上

加 固 豊 治

小松崎 誠

議員在職8年以上

古 橋 智 樹

感謝状

藤 井 裕 一

平成29年 第2回定例会

議案審査特別委員会における主な議案質疑

(6月13日開催)

議案審査特別委員会は15名の委員で構成。

議案第26号

かすみがうら市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

Q 新たに農業委員会に設置される農地利用最適化推進委員の役割はどのようなものか

A 平成28年4月1日に改正農業委員会法が施行され、農業委員会の業務について、これまでの農地法に基づく権利移動の許可など、「農地利用の最適化」の推進が必須業務に位置付けられました。これらを達成するため、中心的な役割を担う「農地利用最適化推進委員」を新たに農業委員会に設置することとなりました。なお、推進委員は担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消・新規参入の促進といった現場活動を行います。

議案第29号

平成29年度かすみがうら市一般会計補正予算（第1号）

Q 消防車両整備事業の内容は

A 現在、西消防署に配備している救助工作車は登録から19年が経過しており、経年劣化による不具合等の発生が見込まれることから新たに救助工作車を購入し、同消防署に配備するものです。

Q コミュニティセンター助成事業の内容は

A 昭和40年代に建設されました大塚団地地区の公民館建て替え工事に対する費用の一部を助成するものです。

本会議の録画放映をスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけるようになりました!

本会議の録画映像を市議会ホームページからスマートフォンやタブレットでもご覧いただけるようになりました。いつでも、どこでも、議会映像を見ることができます。



市議会ホームページ左メニューの
録画放映 からご覧いただけます。

総務委員会

○閉会中に行われた委員会

調査内容

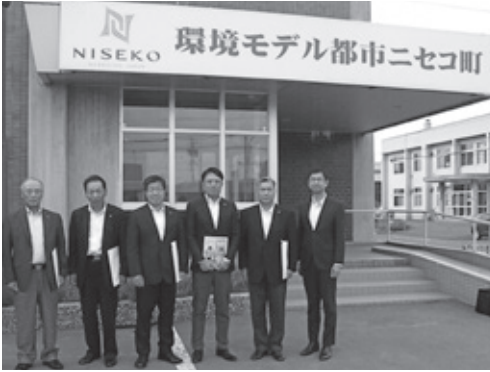
(5月11日開催)

- 平成28年度「定住促進サポート事業」について
- 公金の運用について
- 廃校活用ニーズ調査の結果と今後の対応について
- 公共施設使用料の見直しの実施状況について
- 建設工事に係る最低制限価格設定方法の改正について

調査内容

(6月28日～29日開催)

- 視察研修
住民自治を制度化したまちづくりの取り組み内容及び課題
【北海道「セコ町」】
ジオパークを活用した観光地の現地調査【北海道洞爺湖町】



▲北海道ニセコ町役場前にて

文教厚生委員会

○閉会中に行われた委員会

調査内容

(5月23日開催)

- 視察研修
新治学園義務教育学校の整備に係る取り組み状況について【土浦市】



▲新治学園義務教育学校建設地にて

調査内容

(7月5日開催)

- 視察研修
水戸市立国田義務教育学校の整備に係る取り組み状況について【水戸市】



▲国田義務教育学校前にて

産業建設委員会

○委員会付託案件の審査

調査内容

(6月12日開催)

- 市道路線の認定について(議案第30号)
- 市道路線の認定について(議案第31号)
- 市道路線の認定について(議案第32号)

調査内容

(5月25日開催)

- 視察研修
環境対策の各種課題に対応する様々な環境技術・サービスの先進事例の調査【東京ビッグサイト 2017NEW環境展】



▲市道認定箇所の現地調査【稲吉東地区】



▲佐賀市清掃工場内植物工場前にて



▲土中埋込型コンポスト展示を見学する委員【2017NEW環境展】

調査内容

(7月19日～20日開催)

- 視察研修
バイオマス産業都市について【佐賀県佐賀市】

川村 成二 議員

Q 千代田大橋延伸区間と府中橋延伸区間の新設道路整備に対する取り組み状況は

A 現地調査を行い、その結果を計画に反映します

Q 広域連携が必要な千代田大橋延伸区間と府中橋延伸区間の新設道路整備に対する市長の考えと取り組み状況について伺う。

A 市長 土浦協同病院の移転開院に伴い広域的に不可欠な幹線道路で、その整備は重要かつ緊急の課題と認識しています。計画につきましては、土浦土木事務所を交え、平成28年8月に開催されました石岡・かすみがうら河川広域道路整備促進協議会においてこれら2路線の整備構想が承認されました。今後につきましては、現地調査に着手し、その結果を計画に反映してまいります。

Q 歩崎周辺の今後の事業展開について、さらなる事業の拡大が見込める地域であると考えますが、今後の戦略を伺う。

A 市長 歩崎周辺におきましては、観光施設としての活用も視野に入れ、農村環境改善センターの大規模改修を予定し、この改修事業を契機に歩崎周辺の既存施設や地域資源を生かした一体的な観光誘客を進めることで全体的な価値向上を図ってまいります。

質問事項

- 1** 県南・県西地域12市町村の広域連携の取り組みについて
2 広域連携が必要な本市の新設道路の整備について
3 地球環境改善への取り組みについて(次世代自動車導入、公共施設や一般家庭のLED化普及推進、カーボン・オフセットへの取り組み、首長誓約への署名等について)
4 歩崎周辺の今後の事業展開について



▲農村環境改善センター

宮嶋 謙 議員

Q スクールバスの経費を入学準備金に振り向けてはどうか

A 十分協議を重ねてまいりたいと考えております

Q 霞ヶ浦中学校生徒394名のうち90名がスクールバスで通学しており、その経費は年間4000万円を要している。これは一人一日2000円に相当する額で通学距離的に同じ条件の千代田中学校では、ほぼ全員が自転車通学をしていることから、霞ヶ浦中学校のスクールバスは国庫補助が切れる平成30年度で打ち切つて、バスの経費を全市の新入学生への入学準備金助成に振り向けてはどうか。

A 教育部長 いわゆる子育て支援というような大きなテーマにもなる問題でありますので、十分協議を重ねてまいりたいと考えております。

Q 逆西地区には多くの公共施設が点在するが、和室、会議室、調理室、トレーニングルーム、体育室などが重複している。これを統合・再編成すれば新しいスペースが生まれ、新たな機能のサービスが提供できるのではないかと。

A 総務部長 施設の再編におきましては、各施設に特徴を持たせ、機能を分担することもひとつの手法として考えられますので、神立駅周辺整備の進展などを考慮し、検討を重ねてまいります。

質問事項

- 1** 県南地域における広域連携、合併について
2 小中学校のスクールバス運行と登下校の安全について
3 市街化区域の公共施設の再編成ならびに近隣市との連携について



▲霞ヶ浦地区スクールバス

議員 田谷 文子

Q 千代田中地区4小学校統合校の当初計画を見直しすることになった理由を伺う

A 地区懇談会の結果、困難と判断したものです

Q 千代田中地区4小学校統合校の当初計画を実施することが困難となり、その計画を見直しすることになった理由を伺う。

A 教育長 平成28年度に地区懇談会を行い、志筑地区では志筑小学校に統合、新治・七会・上佐谷地区では千代田中学校敷地に統合し小中一貫校を望む声が多数を占めましたことから、統合校の位置を志筑小学校とする計画は困難と判断し、計画を見直したものです。統合を進めるに当たりましては、引き続き志筑地区の保護者の皆様へ丁寧な説明を行い、一定の理解を得られるよう努めてまいります。

Q 千代田中学校の存続を前提とした敷地一体型小中一貫校（義務教育学校）の整備の必要性について伺う。

A 教育長 千代田中地区の小中一貫教育につきましては、千代田中地区の実情を踏まえ、敷地一体型小中一貫校か併設型小中一貫校のいずれかふさわしい形態を十分に検討してまいります。

質問事項

21 小中学校適正規模化実施計画の一部見直しについて
千代田中学校の存続を前提とした敷地一体型小中一貫校（義務教育学校）の整備の必要性について



▲千代田中学校

議員 健夫 設楽

Q 政治倫理条例の提案環境整備とは何か伺う

A 共通の高い倫理観が必要と考えます

Q 政治倫理条例制定の二元代表制における市長等特別職の責務について9回目の質問である。市長等特別職政治倫理条例の提案環境整備とは何か、先延ばし等の期間は過ぎてている。真正面からの市長の見解を伺う。

A 市長 条例を提案するには、各議案における共通の高い倫理観が必要と考えます。今後につきましても、各分野の状況把握に努めます。

Q 霞ヶ浦二橋一橋の建設は、県道穴倉玉里線の整備として進めていく必要がある。第一橋1キロメートル（高浜入り架橋ルート）の設定と穴倉玉里線との関連、位置付けについて伺う。

A 市長公室長 霞ヶ浦二橋第一橋の橋梁建設につきましては、県の総合計画で本ルートのイメージが示されており、霞ヶ浦大橋の橋梁建設とほぼ同等の規模、地域高規格道路の延伸として構想されています。なお、霞ヶ浦二橋事業につきましては、千葉茨城道路を圏央道から百里飛行場連絡道路まで北へ延伸するルートで、交通の利便性向上、地域振興及び交流人口の拡大など県土の発展プロジェクトと位置付けられています。

質問事項

- 1 市長等特別職の政治倫理条例・政治倫理審査会の設置とコンプライアンス違反・繰り返される飲酒（飲酒仮眠）運転撲滅について
- 2 「小中一貫教育を軸とした教育環境の整備」・「介護予防日常生活支援事業の推進」・「霞ヶ浦地区児童館設立」について
- 3 神立駅を中心とした暮らしやすいまちにする新たなビジョンについて15万人に及ぶ神立・逆西地区共同運営と雨排水・農業用水管理について
- 4 霞ヶ浦二橋第一橋（八木橋1km）高浜入り架橋ルート及び協同病院接続道路について



▲霞ヶ浦二橋構想図（抜粋）

佐藤 文雄 議員

Q 4市町村による新ごみ処理施設建設の是非を住民投票で問うことはできないか、伺う

A 間違った意思決定が行われぬよう、皆様のご理解、ご協力を頂きながら進めたい

Q 4市町村による新ごみ処理施設建設費について、今、わかっているだけでもイニシャルコスト（初期費用）が200億円以上もかかる。「建設の是非を住民投票で問う」ことも考えるべきだと思いますが、市長の見解を伺う。

A 市長 私は、市政を預かる身として、最少の経費で最大の効果が得られる努力をすべきと考えております。今後、市政運営を進める上におきましても、間違った意思決定が行われぬよう、住民の方々、さらには議員の皆様のご理解、ご協力をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

Q 市立さくら保育所に今いる保護者のほとんどが来年3月末の閉所について、「納得していなさう」との意見が出されていますが、市長の見解を伺う。

A 市長 お子様への転所に不安を持つ意見等でありまして、重く受けとめております。このご意見に対しましては、回答した後に保護者説明会を2日にわたり開催し、改めて市の考え方を説明し、ご協力をお願いしたところでございます。

1 新たな広域ごみ処理施設建設問題について
2 総合的な子育て支援について
3 公共交通システムの改善について
4 国民健康保険について
5 上下水道事業について

質問事項



▲さくら保育所

矢口 龍人 議員

Q 長期にわたる公共施設借地の解消に向けた具体的な計画について伺う

A 土地を取得する場合の価格算定基準などを策定してまいります

Q 公共施設に係る借地について、長期にわたる公共施設借地の解消に向けた具体的な計画を伺う。

A 総務部長 借地の解消に向けて、今後も必要な土地を取得する場合の価格算定基準の策定並びに公共施設としてその役割を終えるものに関する返還時期、借地を継続する場合の借地料の基準などを整理してまいります。基準を策定することで、借地更新時の交渉や買い取り時に基準になるものと考えております。

Q 平成28年度から中学校区ごとに地域コミュニティづくりが始まった。しかし、下稲吉中地区には拠点となる公民館がない。今後の具体的な対応策を伺う。

A 総務部長 当面の間は、働く女性の家や勤労青少年ホームなど、今ある施設を市民ニーズに対応できる施設となるよう検討を進めてまいります。なお、将来的には、市の中心部における公共施設の充実や市内各地区の特性を踏まえた施設配置を目指してまいります。

質問事項

1 本市の公共施設用地の借地料年間5000万円の課題にかかると今後の具体的な方針、計画はあるのかについて
2 下稲吉中地区における公民館の未整備に対する今後の具体的な方針、年次計画はあるのかについて



▲勤労青少年ホーム

来栖 丈治 議員

Q 世界湖沼会議やいきいき茨城ゆめ国体、オリンピックの機会を生かす基本的な考えは

A 地域間交流を促進させ地域活力の創造につなげてまいりたいと考えております

Q 2018年10月に本県で開催される世界湖沼会議、2019年開催のいきいき茨城ゆめ国体、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの大型プロジェクト開催にあわせ、本市においてこの機会を生かす基本的な考えを伺う。

A 市長 本市におきましては、世界湖沼会議のサテライト会場となり、茨城ゆめ国体では、ふれあいグランドゴルフとペタンク（いずれもデモンストレーションスポーツ）の会場となります。これを機に本市の自然や観光、産業、文化を広く紹介しながら地域間交流を促進させ地域活力の創造につなげてまいりたいと考えております。また、茨城県が推進しますオリンピック・パラリンピックの理念を踏まえました教育推進事業などを視野に入れ、交流と学習の機会を検討してまいります。

Q 農業者の高齢化、担い手不足、農地の荒廃化が進むなか、本市農業の将来に向け、どのような計画があるか伺う。

A 環境経済部長 本市では、農業担い手への支援として経営指標や農地の集積に関する農業経営基盤の強化に関する基本構想を策定しております。これをもとに担い手になり得る農業者に対して、経営所得安定対策や各種制度資金の借入における利子助成など安定した農業経営が図られるよう支援してまいります。

質問事項

1 世界湖沼会議、いきいき茨城ゆめ国体、そして東京オリンピック・パラリンピックなど大型プロジェクトと本市のまちづくりとの連動、対応について

32 本市の農業振興について
みなんでつくる連携と協働のまちづくりについて



▲いきいき茨城ゆめ国体マスコットキャラクター「いばラッキー」

古橋 智樹 議員

Q 幹線道路整備等連絡協議会への人員等連携強化について伺う

A 発展的運営を視野に入れながら進めてまいりたいと考えております。

Q 本市の東西に長い行政界をより実用的に生かすには東西にまたがる幹線道路が必要不可欠だが、その幹線道路間について連携が必要となる石岡市との幹線道路整備等連絡協議会への人員等連携強化について伺う。

A 市長 本市と石岡市で構成する石岡・かすみがうら河川広域道路整備促進協議会の規約において、顧問は国・県関係者及び学識経験者と定められており、発展的運営を視野に入れながら進めてまいりたいと考えております。

Q 本市の暮らしやすいまちづくりイメージとして、医療機関に安定してアクセスできる交通手段も必要である。総合病院などへの需要に対応したコミュニティバスなど交通の整備方針について伺う。

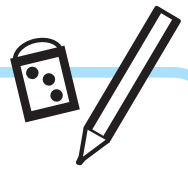
A 市長公室長 平成29年度に地域公共交通網形成計画の一部見直しを進めてまいります。移動ニーズの高い千代田ショッピングモール、また、神立病院や土浦協同病院まで伸長する新たな路線を検討してまいります。

質問事項

21 6号バイパス整備等の国県事業への当市協力体制は
神立停車場線等を活用した具体的な地域活性化策は



▲工事中の国道6号バイパス
(東野寺地内から撮影)



議会を傍聴して 市の動きを知りましょう!

本会議は、一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴することができます。議会での議員の発言や、市長の考えなどを直接聞くことができます。第3回定例会は、9月5日(火)から開会予定となっております。お気軽にお越しください。



- 5月●
- 11日 議会運営委員会
総務委員会
- 12日 茨城県南市議会議長会定例会
議会運営委員会
- 17日 全員協議会
- 23日 文教厚生委員会視察研修
- 24日 全国市議会議長会第93回定期総会
- 25日 産業建設委員会視察研修
- 30日 議会運営委員会
全員協議会
- 議会日より編集特別委員会
- 6月●
- 6日 議会運営委員会
全員協議会
- 6日～21日 平成29年第2回定例会

- 7月●
- 5日 文教厚生委員会視察研修
- 12日 湖北環境衛生組合議会第1回臨時会
- 14日 議会日より編集特別委員会
- 19日～20日 産業建設委員会視察研修
- 24日 茨城県後期高齢者医療広域連合
第1回臨時会
- 25日 議会日より編集特別委員会
- 12日 産業建設委員会
- 13日 平成29年第2回定例会議案審査
特別委員会
- 21日 議会運営委員会
全員協議会
- 28日～29日 総務委員会視察研修

地方議会の会期決定とは?



地方議会において議会が定例会または臨時会において法律上有効に活動できる期間となる会期を決めることを言います。

通常、議会は市長が招集しますが、その期間となる会期や変更については、専ら議会が自主的に定めます。

会期を定めるにあたっては、議案などの件数、内容、定例会臨時会の例を勘案して議会運営委員会の意見を聴き、あらかじめ会期予定を定め、議会の招集日に議決で定められます。

(参考) 地方議会運営辞典)

編集後記

連日猛暑が続いております。「働き方改革」が叫ばれるようになり、長時間労働の是正に、残業を減らし休養を取って仕事にメリハリをつけて生産性の向上を図ることこそ本来の姿と思われます。

横綱稀勢の里が休場しています。怪我を完治させ万全の状態で本場所に臨む為、何よりも休養が必要です。皆様方も無理なさらず、暑い夏は休養を取ってお過ごしください。

議会日より編集委員会副委員長 田谷 文子

ご意見をお寄せ下さい